



びすけっと

251号—2024年1月—

埼玉県立小児医療センター

血液・腫瘍科

親の会 びすけっと

もっとみなさんとつながれるように…

Instagram始めました！

https://www.instagram.com/biscuit_oyanokai/



🏠がんの子どもを守る会 2023年度年次大会「小児・思春期がん患者の移行期を考える」

6月11日（日）年次大会での講演会をオンラインで視聴しました。前号に続き、講演の感想などをお伝えします。

講演②「小児がん長期フォローアップから始まった移行期支援の取り組み」

千葉大学医学部附属病院小児科 医師 日野 もえ子先生

小児科は包括的に診療しますが、成人期医療はかかりつけ医、専門医など役割が分化しているなど医療制度の違いがあり、このことは医師でもよく知らないことがあるそうです。

小児がんの長期フォローアップには、小児科から移行する先がはっきりしないという課題があります。そのため移行期医療は転科が目的のように考えてしまいがちですが、本来はそうではなく患者の自立が目的だということです。このことは患者自身や親もしっかり心にとめておかなければならないと思います。自分で健康管理ができるようにして早期受診を促すことが大切で、移植後の小児がんや若年成人では内分泌、心機能のフォローアップが大事だそうです。

小児科と一般内科（成人）はそれぞれ得意分野があるので、身体の不調を感じたら早めに受診して適切に診断してもらい治療に繋げることで、その後の生活がよりスムーズになるのではないかと思います。

小児血液がん学会と日本造血・免疫細胞療法学会で連携し造血幹細胞移植移行期ツール開発を進めているそうです。（柳戸）

千葉大学病院公式 YouTube 「移行期医療ってなあに？」

<https://www.youtube.com/watch?v=8YmrK35DMjQ&t=6s>



小児血液がん学会 「小児期発症 血液・腫瘍疾患患者のための成人医療移行支援ガイド」

https://www.jspho.org/pdf/journal/20220208_guideline/20220208_01.pdf



日本造血・免疫細胞療法学会

https://www.jstet.or.jp/modules/facility/index.php?content_id=3



年次大会での講演の要約は、がんの子どもを守る会機関誌「のぞみ」第215号に掲載されています。ご覧になりたい方は、がんの子どもを守る会、またはびすけっとまでお問い合わせ下さい。

次回のびすけっとは、**2/13(火)11:00~**

相談室B (2F 総合受付奥)

- ※びすけっとの参加のためだけに病院に来られた場合、
- ・駐車料金は一般料金になりますので、病院外の駐車場をご利用することをおすすめします。
- ・入館時の健康チェックシートは、外来・面会用ではなく、来客・業者用をご使用ください。

※変更の場合があるため、来る前にインスタやLINEで確認してね。

びすけっと連絡先：代表 柳戸 民子

〒350-2224 鶴ヶ島市町屋112-5

TEL 049-271-4708 (留守電)

e-mail yanagido@t.zaq.jp

柳戸LINE、QRコード
ラインでのご連絡もOK!



お手伝いしてくれる人、募集中!